

水防災業務支援システムによる災害対応の効率化・省力化

背景

災害の頻発化・激甚化

災害の激甚化・
広範囲化・複合化

災害対応職員・経験者の
現象

データ連携している関連システム

統一河川情報システム
⇒水位・雨量等のテレメータ

洪水予測システム
⇒予測水位

CCTVカメラシステム
⇒CCTV画像

目的

迅速・的確な災害対応
(情報伝達・対応の漏れ・抜け防止)

防災業務の省人化・省力化
(判断等への集中)

水防災業務支援システム

マルチ画面

流域俯瞰図

動く管内図

水位一覧

危険箇所ランキング

水位グラフ

CCTV

タイムライン

ホットライン

掲示板

施設監視

過去出水一覧

効果(ねらい)

水位に連動した「今・これから」やるべき行動を指南
→異動後まもない職員や少人数の職員でも遅延や漏れなく、対応報告や関係機関とのやりとりができる

幹部等の意思決定者にも易しい機能で、概況図、水位一覧から洪水状況を時空間的に俯瞰できる

災害対応の記録がナレッジとして蓄積されることで今後の災害対応がさらに効率化、高度化される



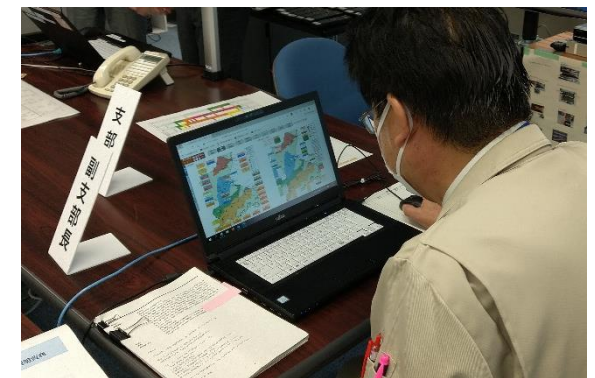
丁寧な職員ヒアリングで、ニーズを把握、機能を改善・カスタマイズ

活用しながら改善



PCで確認

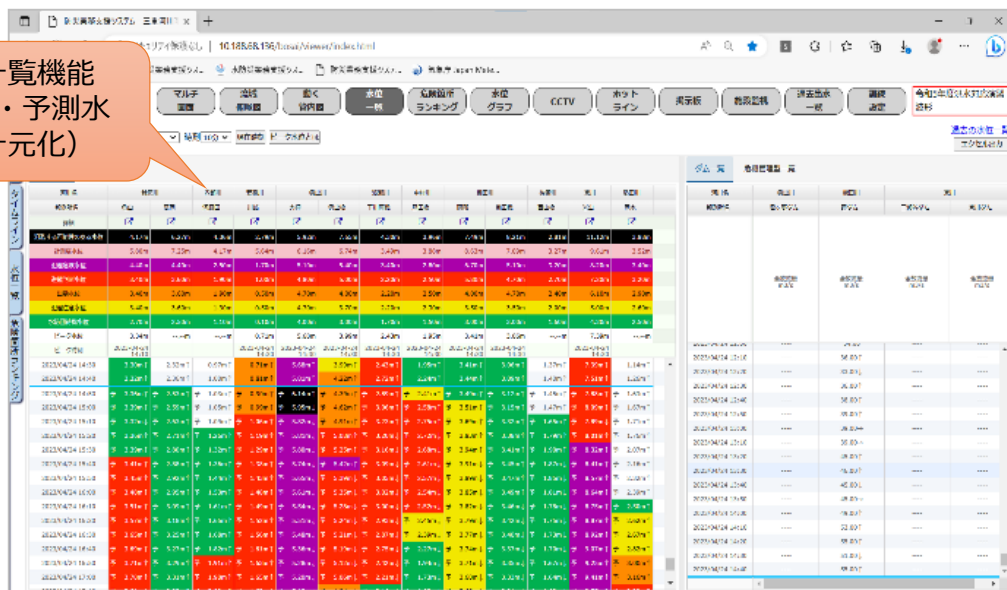
スマホで確認
(R5年度より運用開始)



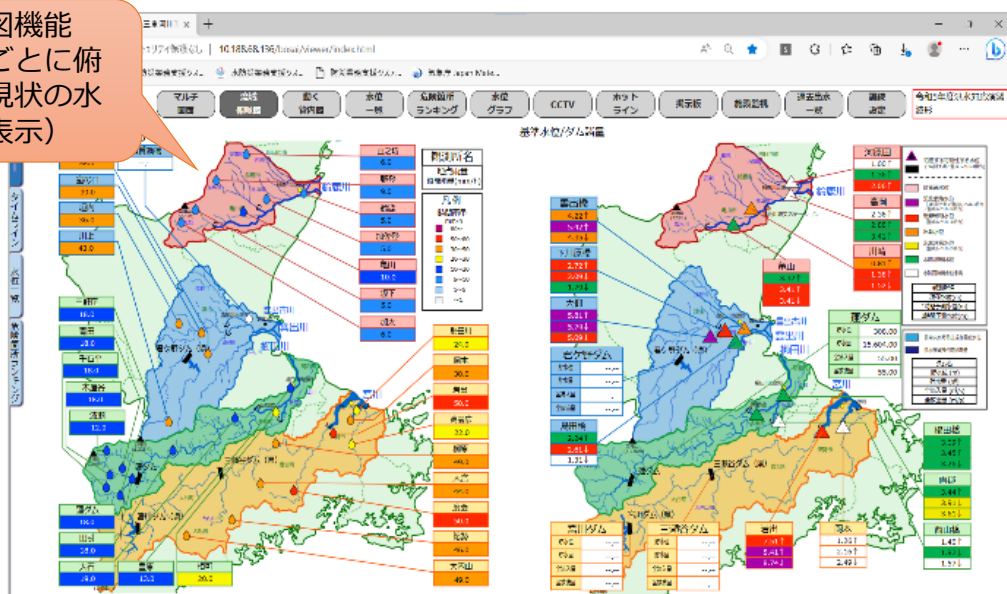
洪水対応演習で実践的活用したうえで、実際の出水対応時にも活用

水防災業務支援システムの有効性・波及性

水位一覧機能
(実績・予測水位を一元化)



俯瞰図機能
(水系ごとに俯瞰的に現状の水象を表示)



自治体との情報共有・ホットライン

○災害発生のリスクが高まった河川について、関係自治体の首長等へ事務所長より直接連絡するホットラインを実施し、河川の状況等を直接伝えるとともに、自治体の状況等について確認を行いました。
○河川情報等を集約し出水時に水防災業務を支援する「水防災業務支援システム」を試験的に関係機関と共有しており、台風第10号では津市で活用され、水位上昇予測やホットライン実施時の情報等の共有を円滑にしました。また、Teamsを用いて津市ほか5市町とシステム上の水位予測等を共有しました。

＜ホットライン実施状況＞

自治体名	実施状況
津市	8月29日 9:10
	8月29日 9:50
	8月29日 11:33
	8月29日 21:55
	8月31日 12:00
四日市市	8月29日 14:00
	8月29日 9:30
松阪市	8月29日 12:35
	8月29日 15:43
	8月31日 13:18
多気町	8月31日 14:04
	8月31日 12:30

津市役所内の予測結果の共有状況



実測・予測水位(値)を
一画面で閲覧できる

R6年度の出水では、
市にて活用